

深井奨学財団（戸山高校奨学基金）からお礼とご報告

公益財団法人深井奨学財団 理事長 井上 尚男（昭 33）

城北会は戸山高校創立 100 周年記念事業の一環として深井奨学事業を再活性化するため 1985 年から寄附集めを開始し、100 周年記念時には 5000 万円強の寄附を頂戴して新生深井奨学事業を始める事が出来ました。以来、城北会員皆様のご支援のおかげで 2021 年 3 月末には、指定正味財産残高 2 億 3 千 9 百万円の規模まで本財団を成長させていただきました。ありがとうございました。

2020 年度は、深井奨学財団に、総件数 321 件で、個人会員や毎年のように多額のご寄附を頂戴する会員諸兄姉から多大のご寄附を頂き、総額 4,941,000 円（予算：4,000,000 円）となりました。厚く御礼申し上げます。なお、前年度のご寄附総額 3,433,000 円との実績比では、お陰様で 44% の伸びを頂きました。本年度もぜひ多大のご支援の程をお願い申し上げます。

2014 年度から新たにはじめた「東京都立戸山高等学校の総合的な教育活動に対する助成」事業に対して、2020 年度は、75 名の個人会員から合計 241,000 円の寄附を頂戴しましたこと御礼申し上げます。なお、深井奨学財団への寄附者のご氏名のみは本誌第 69 号に掲載させていただき謝意を表します。

・財団の 2020 年度の奨学事業実績は、深井奨学給費生 32 名に 372 万円、大学入学お祝い金については本年度現役生 10 名、浪人 3 名（一人 24 万円）に 312 万円。奨学金合計 684 万円を給付することが出来ました。

また、戸山教育助成事業実績は、「豪州サイエンス研修」、「米国サイエンス研修」が 2020 年度はコロナ禍のため中止されましたので、実績はありませんでした。

2021 年度の奨学事業計画は、深井奨学生 36 名に月々 1 万円の給付と、大学入学祝い金一人当たり 24 万円を 14 名に給付する公益目的奨学事業に直接費用を含めて 981 万円余の予算を組みました。

また、戸山高校が掲げる「国際社会に貢献するトップリーダーの育成」のミッションに即して、今後とも海外研修奨学助成の重要性が増すことは必須と考え、戸山生に限っての海外研修奨学助成を主体に、戸山教育助成予算 66 万円を組みました。総事業予算は、公益目的奨学事業費、戸山教育助成事業費、管理費等を含め合計 1,078 万円余の予算を計上致しました。

今年の 2021 年度事業計画書並びに収支予算書を組むに当たり、指定正味財産の運用益だけでは不足しますので、会員皆様からの奨学基金寄附金収入に頼らざるを得ず、奨学寄附金収入予算は 400 万円を計上しております。また、税制の優遇措置が受けられない「使途指定（戸山教育助成）寄附金」収入予算は、40 万円を計上致しております。

以上の点をよろしくご賢察のうえ、本年度も城北会の会員の皆様には一層のご支援とご協力をなにとぞお願いする次第です。

寄附金収入のうち、2007 年度から始めました城北会年会費と一緒に振り込む「口座自動振替ご寄附」（継続賛助会員）は、初年度の 2007 年度 25 件からはじまり、2019 年度は 85 件、711,000 円で、2020 年度は 84 件、912,000 円でした。本年度も、城北会年会費 2,000 円、奨学基金 1,000 円と戸山教育助成へ 1,000 円と是非積み上げてお振込頂きたく、継続賛助会員の皆様にはご協力をお願いいたします。

なお、2020 年度の公益財団法人深井奨学財団に関する詳細な決算及び財務諸表は、深井奨学財団定時評議員会による所定の手続を経たうえ深井 HP で電子公告いたしますのでご覧願います。

<http://toyamaob.org/zaidan/index.html>